

平成19年度実践的研究助成対象研究一覧

| 代表研究者 | | 研究課題 | 助成額 (単位：万円) ()内累計 | 助成年度 |
|-------|---|--|--------------------------|--------|
| 1 | 大平 哲也 (大阪大学医学系研究科公衆衛生学学内講師・他計4名) | 認知症予防を目的とした笑いの効果についての実践的研究 <新規> | 150 | H19 |
| 2 | 斉藤 弥生 (大阪大学大学院人間科学研究科准教授・他計6名) | 認知症高齢者に対する小規模多機能ケアの効果を測る実証的研究 <新規> | 113 | H19 |
| 3 | 坪井 章雄 (茨城県立医療大学保健医療学部作業療法学科准教授・他計6名) | 認知症高齢者を介護する家族の介護負担感を軽減する介入方法の 開発と有用性の検討 <新規> | 122 | H19 |
| 4 | 納戸 美佐子 (久留米大学文学部社会福祉学科助教・他計5名) | 認知症高齢者を対象としたボランティアの質向上プログラムの開発 <新規> | 110 | H19 |
| 5 | 藤原 佳典 (東京都老人総合研究所社会参加とヘルスプロモーション 研究チーム研究副部長・他計3名) | 高齢者の自主グループ活動におけるネットワークの継続・拡大に関する介入研究 <新規> | 125 | H19 |
| 6 | 山本 則子 (東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科教授・他計6名) | 訪問看護における認知症ケア確立をめざした実践研究 <新規> | 130 | H19 |
| 7 | 梅崎 薫 (埼玉県立大学社会福祉学科准教授・他計6名) | 高齢者虐待及びその養護者支援等への予防的コミュニティづくりに関する研究 <継続> | 124 (251) | H19・18 |
| 8 | 川副 巧成 (社会福祉法人春秋会リエゾン長崎理学療法士・他計11名) | 認知症予防と運動の関係 一筋力向上トレーニングによる運動介入と脳機能との関連性一 <継続> | 121 (226) | H19・18 |
| 9 | 篠田 美紀 (大阪市立大学大学院生活科学研究科准教授・他計6名) | 在宅軽度認知症高齢者とその家族に対する臨床心理学的援助に関する研究 <継続> | 115 (245) | H19・18 |
| 10 | 中山 徹 (奈良女子大学大学院人間文化研究科准教授・他計5名) | 日常生活圏域及び地域包括支援センター・地域密着型サービス等のあり方 に関するまちづくりモデルプラン作成 <継続> | 119 (244) | H19・18 |
| 11 | 森 一彦 (大阪市立大学大学院生活科学研究科教授・他計4名) | 虚弱高齢者の近隣外出のための「安心拠点マップ」づくり 一福祉施設、自治会、商店街の地域内連携をめざして一 <継続> | 112 (231) | H19・18 |
| | 合 計 | 11 件 | 1,341 | |

